

## 【参考例】 国内代理人見積書

★見積書の様式は自由です。下記必要事項を記載してください★

20〇〇年〇月〇日

様式第1の日付より前の日付

## 見積書

〇〇株式会社 御中

御見積額

¥386,500.-

〇〇特許事務所

〒999-999 東京都〇〇区〇〇1-1-1

TEL03-9999-9999 FAX03-9999-9999

担当：〇〇

費目ごと（庁費用、現地代理人費用、国内代理人費用、翻訳料）に分けて記載

出願国名	内容	金額（円）
① 米国	当所手数料（含雑費、通信費、振込手数料）	200,000
	現地代理人手数料	150,000
	現地庁費用	0
	翻訳料（日本語→英語）日本語 1 Word = 30円 500Word ②	15,000

① 現地で発生する費用は、すべて円建てにし、現地代理人手数料、庁費用、翻訳料に分けて記載

② 翻訳料は、1 Wordにつき〇円など単価を明記

- ・国内で外注する場合は、外注先も明記
- ・現地で翻訳する場合も単価を明記し、円建てにする

※中間応答時の翻訳料を、タイムチャージで請求する場合、現地代理人費用または国内代理人費用に含める

③ 現地代理人名（事務所名）及び所在国を明記

※申請書の間接補助金交付申請額には、補助対象外の費用は含めずに計算する

対象外経費の例：交付決定前に発生した費用（拒絶理由通知を受領し、検討、送付に伴う費用）、拒絶理由通知の翻訳/要約費用、ジェトロ用書類作成料、成功報酬、国内海外消費税、中間応答手数料を支払った後に外国特許庁に支払う費用、中間応答延長費用等

※米国Final Actionに応答する場合等、対応方法が複数ある場合は、想定される費用に余裕をもって見積る

③	米国：現地代理人 〇〇 Attorneys at law 所在地 米国	
	小計	365,000
	消費税10%	21,500
	合計	386,500